



入船だより

よこはましりつりふねしょうがっこう
横浜市立入船小学校
こうちょう なかむら きみとし
校長 中村 公俊
がっこう
学校だより 10月号
れいわ ねん がつ にちはっこう
令和4年9月30日発行

うち そだ 内から育つ

がっこうちょう なかむら きみとし
学校長 中村 公俊

なかやす こうてい ざっそう み くさ つ こ で あ わたし はな
中休みの校庭で、雑草をじっと見ながら草を積んでいる子に出会いました。私が話しかけると「トノサマバッタ」をか飼っていて、そのエサになる草を探しているそうです。エサは「イネ科の植物」だそうです。わたしはすっかり感心して、いろいろと質問してしまいました。

「いつ頃から飼っているの？」

「2週間くらい前から。」

「このえさはどうするの？」

「この後、瓶にさして食べさせます。」

「飼っていて、どんな気持ちになる？」

「大きくなるのが楽しい。観察するのが楽しい。」

「他にはどんな昆虫を飼ってみたい？」

「夜に、光に集まる昆虫を採集してみたい。」

じつ りっぱ こた
実に立派な答えです。おそらく昆虫図鑑などを用いて飼育方法を調べたのでしょう。イネ科の植物として、「ねこじゃらし (エノコログサ)」を探していることからもしっかり調べて飼育していることがわかります。主体的な学び、探求する心が育っています。

こくご さんすう きょうかがくしゅう たいせつ どうじ しぜん ほんもの おし
国語や算数などの教科学習も、もちろん大切ですが、それと同時に、自然 (本物) から教えてもらうこと、自分の興味・関心をもとに学習を進めることも、とても大切です。「入船の森」には様々な教科書 (昆虫や植物) であふれています。話しかけた子以外にもショウリョウバッタを捕まえている子たちや、森の中を走り回っている子たちが大勢いました。

かくがくねん そだ
各学年で育てている植物も収穫の時期を迎えています。休み時間になると担任の先生と一緒にナスやゴーヤを楽しそうに収穫している子たちの目はきらきらと輝いています。自然 (本物) に触れることで、心が豊かになり、様々なことを体感する。まさに、「内から育つ」です。

